

# 大谷婦人会

す  
み  
れ



## 2016年度 全国大会 全物故会員追弔法要・秋季永代経法要

～大谷妙子会長就任20周年記念～

2016年11月22日開催(講師 真宗大谷派元宗務総長 木越 樹 師)

今年度の全国大会は、両堂等御修復完了奉告法要、会長就任20周年、そして副会長就任と二重三重にお慶びが重なりとても嬉しい大会でした。久しぶりに親鸞聖人の御正忌報恩講中の開催でした。暖かな陽射しの中、多くの会員の皆様と遠夜にお参りさせて頂き、またまた嬉しさも重なり感慨もひとしおの大会でした。

『仏法聞き難し いますぐ聞く』そのことは、希有の難事であると。自己主張の私に、言い分がある限り仏法聞き難いですと。ご講師の木越先生は『我一人がためなりけり~聞成就の仏道』と題し、聞くという事は中々出来ません。聞くという事が身の上に成り立つことの難しさについてお話くださいました。

私ども大谷婦人会のスローガン『聞法一路』のもと、近現代という今まで、『仏法聞き難し』と言われる中、いま、すでに聞く。という場をいただき『人身受け難し いますぐ聞く』と、この身の誕生をありがたし、いただき感謝する行為を親から子へ子から孫へそして私へと伝承されてきました。仏教的家庭教育の大切さを改めて感得した意義深い御仏事でした。

そして今、「とどけよう ナンマンダブ」と声かけ合って、『弥陀の名号となへつつ信心まことにうるひとは 憶念の心つねにして 仏恩報ずるおもひあり』を歓喜の心いっぱいに活動する始まりの時をいただいたことでした。

大谷婦人会委員長 宮本 春美



聞くことは  
難しいね



# 熊本地震 被災地訪問

2016年10月12日

## 熊本地震災害義援金に関するご報告

2016年4月、熊本県において震度7を超える大地震が発生し、大きな被害をもたらしました。家屋が倒壊し、今もなお仮設住宅にお住まいの方が大勢おられます。また、本堂が全壊または半壊し、未だに再建のめども立たず不安な日々をお過ごしの方々もおられます。

大谷婦人会では、地震発生後ただちに災害義援金勧募のための口座を開設し、全国の大谷婦人会支部、花すみれ読者の皆様に協力を呼びかけました。その結果、2016年9月12日時点で500万円を超える温かい義援金が集まり、同年10月12日、宮本春美委員長と近藤由美子常任委員が熊本教務所へ赴き、500万円の目録を中根慶滋教務所長にお届けさせていただきました。



## 鳥取県中部地震に関する 中河原支部への見舞金について

2016年10月21日の14時7分頃、最大震度6弱の地震発生により、京都教区中河原支部（鳥取県倉吉市小鴨）の大谷婦人会会員宅30軒を含む多くの方の住宅が被害を受けられることに対し、2016年10月27日に、お見舞いとして50万円を送金しました。支部の代表者からは「支部の会員方は、思いもかけない見舞金を送ってもらい、大変感動されています。有難い気持ちで一杯であることを伝えてください」と伝言をいただきました。

このたび被災された多くの方々にお見舞いを申し上げます。

## 災害義援金募金の報告とお願い

2017年1月27日現在で、全国の大谷婦人会支部、個人、そして花すみれ読者の皆様から総額5,419,959円を頂戴いたしました。

お寄せいただいた義援金は、このたびの地震被災地の復興支援を目的として使用させていただきます。

この募金は継続しておりますので、送金いただく場合は、郵便局の振替用紙を使用いただき、「通信欄」に「義援金」と明記の上ご送金願います。

大谷婦人会 義援金口座 口座番号：ゆうちょ銀行振替口座 00950-3-209979  
加入者名：真宗大谷派大谷婦人会 災害義援金



# 支部訪問

## 絵解きの報恩講(えときのほんこさん)

小松教区長田町支部

12月9日 開催 於・蓮光寺(石川県小松市)

「私たちの報恩講を!」という皆の声から自然と始まった「絵解きの報恩講」は、2004年から毎年12月初旬に行っています。

今年は会員55名の参詣のもと勤まりました。内陣左余間に親鸞聖人のご生涯を描いた御絵伝が掛けられ、蓮光寺の日野暁洋住職から法話がありました。

この日のために、世話方の人達が、春から山に入って山菜を採り、小豆を調達し、おもちをつきます。2日前からは、ぜんざい、甘酒、煮物、漬物など、お膳いっぱいのご馳走を作っていただきます。

このお斎では、小豆がお好きだったといわれる親鸞聖人を偲んで、ぜんざいを頂き、おしゃべりして楽しいひと時を過ごします。

親鸞聖人の教えを聞くこの行事がいつまでも続いていくよう、毎年大切にお勤めしたいと願っています。

支部長 日野晃子



## 委員協議会

2016年12月12日 開催

全国27人の委員のうち、17人と監事の2名による参加で委員協議会が開催された。

委員長より「大谷婦人会の願い、現況と課題について」と題した問題提起の後、委員が班別座談を行い、「支部巡回の実施奨励の方法」「支部と支部の繋がりの強化」「支部の聞法活動のための環境作り」について意見を交わしあった。

全体協議では大谷婦人会の事業計画について、また支部の課題について話し合いをし、委員の更なる意識向上を図る有意義な会議となった。





## ◆ 全国支部長・役員研修会 春季永代経法要

2017年4月24日(月)～25日(火)

1泊2日にて開催。今回は東京教区存明寺住職・酒井義一師のお話を聴聞し、座談会を行います。

2日目はバス研修を行います(五村別院と彦根城に訪れます)。

※誤植のお詫び:通信すみれVol.11に於いて、開催期日を2016年としておりましたが正しくは2017年です。ここにお詫び申し上げます。

## ◆ 北陸地区聞法会(前期・後期)

前期:2017年 第1組 5月16日(火)～17日(水) 第2組 17日(水)～18日(木)

後期:2017年 第3組 6月13日(火)～14日(水) 第4組 14日(水)～15日(木)

今回は70回目の記念の聞法会となります。講師は前後期ともに大谷大学名誉教授・沙加戸弘師です。

会場は、前期が山代温泉「ゆのくに天祥」、後期が和倉温泉「のと樂」になります。

## 『やさしい法話シリーズ』 No.18発行

毎年発行し、好評をいただいている大谷婦人会の「やさしい法話シリーズ」。

今回は、2015年12月、真宗教化センターしんらん交流館にて開催しました大谷婦人会全国大会における海法龍師(東京教区長願寺住職)のご法話「今、南無阿弥陀仏に生きる」を加筆修正いただきました。

私たちは「居場所」を求めて生きてています。居場所がないと生きていけません。著者は、本当の居場所というのは、そこにおいて安心ができる、そこに温もりがある、そして他者とのつながりの中で尊重と信頼の中に生きていける喜びがあるところ。それが「えらばず、きらわず、みすてず」というお念佛申す世界であるとお話ししています。



1部130円(税込・送料別)

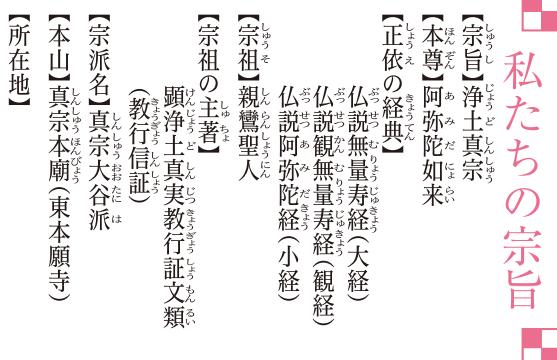
## 『月刊花すみれ』

月刊花すみれは1951年から発行されている、大谷婦人会の歴史ある伝道冊子です。毎月、私たちの生活の中で経験したことや人とのふれあい等を例にあげて、親鸞聖人のお念佛の教えがわかりやすく書かれています。ご家庭やお寺で、ぜひ皆さん一緒に読んでください!

購読料 年間2,400円(送料込)



お申し込み、お問い合わせ: 大谷婦人会事務局 TEL.075-371-6181



## 編集後記

(近藤編集委員長)

今回の支部訪問、長田町支部でも報恩講には小豆が供されぜんざいを頂くとある。

聖人が好まれたという小豆を真宗の寺では報恩講に欠かせないものとして大切に頂いてきた。その小豆をうちでは、餅米で小豆ご飯を炊く。遠夜にお供えし、翌日晨朝のお勤めのあと小豆粥にし、講師を囲んでみんなと一緒に頂く。前住職、俳号を竹窓という。一句

小豆粥出る親鸞忌なつかしき  
句仏上人の碑とならんて寺の庭に建っている。